

飲食店舗の営業時間から見た飲食店の分布状態に関する研究

薛 琦 (地球科学専攻)

1. 研究背景と目的：飲食店は街の中での居場所として働く。特に、大学周辺の各店が時間的に広がることは多様なライフスタイルを持つ人々の飲食、宴会、休憩の場として大きな役割を果たす。そして、大学周辺は多数の学生向けの店があり、学生達にとって大変便利である。本研究では飲食店舗を多く有する天久保エリアを対象とし、店舗の営業時間に着目して、時空間的広がりの中で飲食店舗の存在の状態を記述することを目的とする。

2. 対象地域と方法：筑波大学周辺天久保エリア(1,2,3,4丁目)を調査範囲とし二日間の現地調査を行った。そして、GPS 端末を用いて各飲食店舗の位置をポイントとして記録した。その範囲内の飲食店舗について、店舗の種類、名称、営業時間を調査した。時間による営業店舗数の推移を統計する。飲食店舗の分布、時刻別の営業状況、開放状態を整理し、時間的な広がりの中で飲食店舗の存在様態を地図化にし、分布の特徴を分析する。

3. 結果・考察：調査範囲内で全 46 件の飲食店舗が存在した。また、営業時間について、開店時間と閉店時間の分布を表 1 としてまとめた。

時刻	開店	閉店	営業店舗数	時刻	開店	閉店	営業店舗数
6時台	2	0	3	18時台	6	0	42
7時台	0	0	3	19時台	0	0	42
8時台	1	0	4	20時台	0	1	41
9時台	0	0	4	21時台	0	0	41
10時台	2	0	6	22時台	0	1	40
11時台	20	1	25	23時台	0	3	37
12時台	0	0	25	24時台	0	10	24
13時台	1	0	26	25時台	0	6	14
14時台	0	0	26	26時台	0	3	10
15時台	1	5	22	27時台	0	7	3
16時台	0	4	13	28時台	0	2	1
17時台	18	8	34	29時台	0	0	1

表 1 時間による営業店舗数の推移

(*24時間営業する店舗は一つ)

表 1 より、店舗の開店と閉店時間は 11 時、17 時、24 時、27 時を境に大きく変わることが分かった。18 時と 19 時営業する店舗が一番多かった。28 時と 29 時営業する店舗はなかった(24 時間店舗除

き)。図 1 は全体の開放状態の分布を表す。図 2 は時間帯別の営業中飲食店舗の変化を表す。朝から営業する店舗は大学中心に近くの天久保 3 丁目である。12 時と 18 時営業する店舗が天久保エリア全体として広域に分散している。深夜になると営業する店舗はアパートが多い地域を移動する。そして、深夜に営業する店舗、居酒屋は重要な役割を担っていることが確認できた。

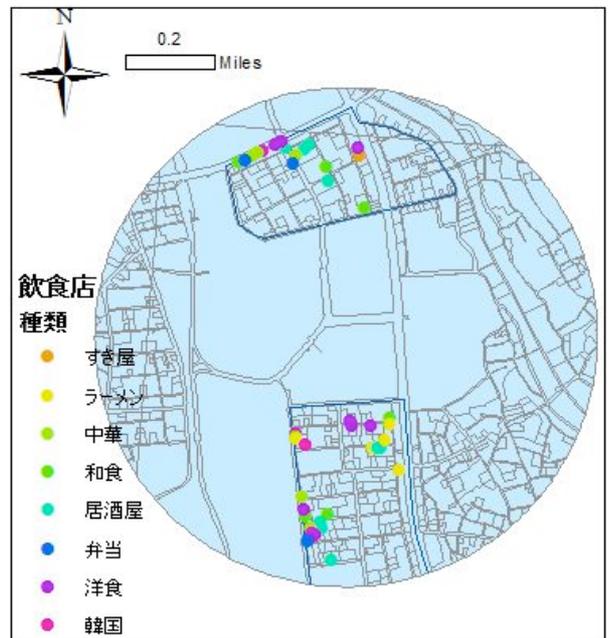


図 1 全体の開放状態の分布

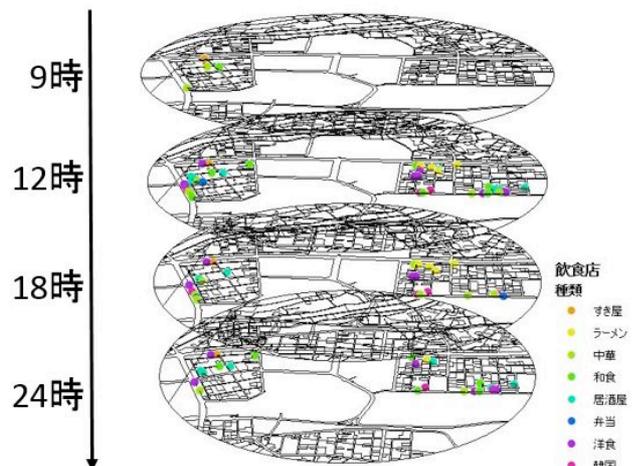


図 2 時間帯別の営業中飲食店舗の変化